



参考となる指標があまりないのも判断材料に迷うところですが  
ムーディーズやS&P（スタンダード&プアーズ）での  
各国の国債の格付けを見てみると以下のようになります。  
ホームページはこちらになります。

<http://www.standardandpoors.co.jp/>

自国通貨建て

B R I C s	各国の国債格付け(S&P)
ブラジル	BB+/ポジティブ/B
ロシア	A-/安定的/A-2
インド	BBB-/安定的/A-3
中国	A/安定的/A-1
V I S T A	各国の国債格付け(S&P)
ベトナム	BB+/安定的/B
インドネシア	BB+/安定的/B
南アフリカ	A+/安定的/A-1
トルコ	BB/安定的/B
アルゼンチン	B+/安定的/B

日本 AA-/ポジティブ/A-(ダブルAマイナス)  
タイランドですと A/安定的/A-1（シングルA）になるのですね。  
V I S T A各国よりは高いようです。  
日本と同レベルはポルトガル・台湾。  
ムーディーズの格付けではボツワナ・チリより格下になります。  
(こう見ると日本の国債って大丈夫なのか心配になりますが・・・)

管理人のコメント：

ファンドのインターネットセミナーを調べていまして、いろいろ考えることが  
多かったために書いてみました。

わたくしはまだB R I C sやV I S T A各国へ訪問したことがないので

（香港はありますが）是非行って見てその国の雰囲気や成長度を確かめてから  
購入してみたいです。

年内にベトナム、中国は訪問したいですね。

ただわたくしはタイランドに住んでいるので

最真目に見てタイのほうが株式市場も、

日本人の馴染み度も優れているような気がするのですが・・・。

（もちろん株価にはまだまったく動きがないので説得力に欠けます）

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 012 BGH です。○○

タイの大手私立病院です。

タイでは病院が上場していると言う日本人から見ると不思議な感じのする会社です。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

ただし、世界の視点から見れば高い医療技術を提供するのであれば、そこにはお金もかかるし、その費用も請求し、経営の視点も重要であると言う考えなのでしょうね。

バンコク・デュシットメディカル・サービスは  
BGH(バンコクジェネラルホスピタル=バンコク総合病院)をバンコク市内に持ち、  
550床の大型病院施設並びに治療施設を11持っております。  
BGHはタイでバンコク病院やBNH病院など14病院を運営していきまして、  
今後5年以内にグループの病院数を20に増やす方針です。  
海外ではカンボジアのほか、中国への進出を計画しています。  
病院経営企業としては、タイで最大規模の病院グループとなります。

日本にいらっしゃる方はあまり御存知ないかもしれませんが  
タイランドは世界中から患者さんが訪問して治療を受けて帰っていく医療ハブ国家であります。

タイの民間総合研究所のカシコーン・リサーチ・センター(KRC)によると、  
私立高級病院を利用するタイ国での外国人は06年度予測で140万人となり、  
海外の外国人の治療・療養による収入額は05年比で10.3%増の  
364億バーツ(およそ1274億円)に達する見込みとなっています。

バンコク市内のペップリー通りを越えたところに  
こちらのバンコク総合病院がありますが、日本人総合受付場所は少し場所を移転して  
新しい病棟が建設されていました。  
さらにはアラビア語による専門的なサポート部署を設置していきまして、  
アラブの富裕層への対応も充実させているようです。  
1階がアラビア語で、2階が日本語センターでした。

バンコクに住んでいる日本人なら  
いざと言うときに病気になったりした際、24時間応答受付サービスが利用できます。  
常時通訳者さんも付くようで手厚いサービスを受けることが可能です。  
(もちろん高いですが)

しかし海外旅行者保険等で利用すればすべて保険会社のほうで  
支払ってもらえるために、友人が旅行でバンコクに訪れて入院してしまったときは  
個室のテレビ付き、バスルーム付き、冷蔵庫付きの大変素晴らしいお部屋に通してもらいました。  
サービスは高級ホテルのレベルで対応してもらえます。

病気になってから行くのではなく、見学に訪れて日本の病院との違いを  
感じるのも勉強になると思われれます。3時間待ち3分診療と言うのは皆無です。

□□ No 3 本日アマゾンキャンペーンです ■■

いろいろと書くべきタイのニュースがあるのですが、  
1日限りのキャンペーンですので御報告です。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120  
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

今回のキャンペーンに御応募いただきますと、

- 1・「タイ株完全マニュアル企業情報編41社」に書くことのできなかつた企業レポート「タイ株完全マニュアル企業情報編41プラス」が付いてきます。(4月下旬)
- 2 さらに初版本には差込ハガキが入っておりまして「タイ株完全マニュアル企業情報編41プラス10」に御応募可能です。(初版限定ですのでアマゾンで売れてしまう可能性もあります)

つまり初版本御購入の方には「タイ株完全マニュアル企業情報編41」を御購入された後、ダブルでお得な情報を入手することが可能となります。

もし御興味ありましたら初版本+アマゾンキャンペーンの御利用頂けましたら幸いです。

御申し込みページはこちらでございます。

<http://thaikabu.net/amazon.php>

□□      No 4 追伸です      ■■

いよいよ日本にてタイ株セミナー4月15日(日)が開催されます。

詳細はこちらになります。

<http://www.financialacademy.jp/seminar/1267.html>

東京茅場町にて多くの方と御挨拶させていただきたいので告知しておきます。

当日はブログでは書けなかつたタイの話もしていきます。

- ◎ 海外投資のメリットとはどんなことがあるのか?
  - ◎ その中でも東南アジア諸国連合 ASEAN の中心国タイってどんな国なのか?
  - ◎ ASEAN は今後どう発展していくのか?
  - ◎ タイと各国の FTA・EPA の進捗具合、メリット&デメリットはどのようなものが?
  - ◎ 2006年度のタイ経済を振り返って数々のポイントを解説!
  - ◎ そして暫定政権が今後行うスケジュールは?
  
  - ◎ 今後経済大国へ向かう中国と人口急増国家インドに挟まれた ASEAN とタイはどう進むのか?
  - ◎ 2006年度後半 インド株・香港株、ベトナム株、は最高値を更新、タイ株はどう動いたのか?
  - ◎ 2007年のこの時点でタイ株投資をするメリット・デメリットとは?
  - ◎ タイ株をどうやって取引するのがよいのか? またその開設方法はどうすればよいのか?
  - ◎ タイの政治・文化は日本とどう違うのか?
  - ◎ タイ側から見た日本はどう映っているのか?
- 後半は各セクターごとの解説と個別銘柄の詳細を話していきます。

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

